

4.1.3

1つ 開区間 $O = (a_1, b_1) \times \dots \times (a_n, b_n)$ は 開集合 \mathbb{R}^n における点。

$O \ni x = (x_1, x_2, x_3, \dots, x_n)$ に対して

各 $i=1, 2, \dots, n$ に対して $a_i < x_i < b_i$ である。

よって $\varepsilon_{a_i} = x_i - a_i, \varepsilon_{b_i} = b_i - x_i$ であり $\varepsilon_{a_i}, \varepsilon_{b_i} > 0$ である。

よって $\varepsilon = \min\{\varepsilon_{a_1}, \varepsilon_{a_2}, \dots, \varepsilon_{a_n}, \varepsilon_{b_1}, \dots, \varepsilon_{b_n}\} \in \mathbb{R}.$

$\varepsilon_{a_i} > 0, \varepsilon_{b_i} > 0$ より $\varepsilon > 0$ である。

これに対して $B(x, \varepsilon)$ である。 $B(x, \varepsilon)$ の任意の元 $x' \in \mathbb{R}^n$ に対して $d(x', x) < \varepsilon$

$x' = (x'_1, x'_2, \dots, x'_n)$ である $d(x', x) < \varepsilon$ である。

$$\sqrt{\sum_{i=1}^n (x'_i - x_i)^2} < \varepsilon$$

よって 各 i に対して

$$\sqrt{(x'_i - x_i)^2} < \varepsilon$$

$$|x'_i - x_i| < \varepsilon$$

$$x_i - \varepsilon < x'_i < x_i + \varepsilon$$

$$\varepsilon > 0 \text{ として } \varepsilon \leq x_i - a_i, b_i - x_i \text{ である。}$$

$$x_i - (x_i - a_i) < x'_i < x_i + (b_i - x_i)$$

$$a_i < x'_i < b_i$$

よって

$$x' \in O$$

よって

$$B(x, \varepsilon) \subset O$$

よって

O は開集合。

次に 閉区間 $P \cap A = [a_1, b_1] \times \dots \times [a_n, b_n]$ は 閉集合 \mathbb{R}^n における点。

$A \ni x = (x_1, x_2, \dots, x_n)$ に対して

各 $i=1, 2, \dots, n$ に対して

$$x_i < a_i \text{ ならば } x_i > b_i$$

よって

$$\varepsilon_i = \max\{a_i - x_i, x_i - b_i\} \text{ である。}$$

よって

$$\varepsilon = \min\{\varepsilon_1, \varepsilon_2, \dots, \varepsilon_n\} \in \mathbb{R}.$$

$$\varepsilon_i > 0 \text{ である。}$$

$$\varepsilon > 0 \text{ である。}$$

これに対して $B(x, \varepsilon)$ である。 $B(x, \varepsilon)$ の任意の元 $x' \in \mathbb{R}^n$ に対して $d(x', x) < \varepsilon$

$x' = (x'_1, \dots, x'_n)$ である $d(x', x) < \varepsilon$ である。

各 i に対して

$$x_i - \varepsilon < x'_i < x_i + \varepsilon$$

$$x_i - \varepsilon_i < x'_i < x_i + \varepsilon_i$$

$\varepsilon \leq \varepsilon_i$ である。

ε_i の定義より

$$\varepsilon_i = a_i - x_i, x_i - b_i \text{ のうちの大きい方}$$

$$\varepsilon_i = a_i - x_i \text{ である。}$$

$$x'_i < x_i + \varepsilon_i = a_i$$

$$\varepsilon_i = x_i - b_i \text{ である。}$$

$$x_i - \varepsilon_i = b_i < x'_i$$

この「 $\varepsilon_i = \max\{a_i - x_i, x_i - b_i\}$ 」は、
 $a_i < b_i$ であり、 x_i が a_i と b_i の間に
 ないとき、 ε_i は $a_i - x_i$ または $x_i - b_i$ の
 大きい方をとる。つまり、
 x_i が a_i より左にあるときは $a_i - x_i$ を、
 x_i が b_i より右にあるときは $x_i - b_i$ をとる。
 これは、 x_i が区間の外にあるときに、
 どれだけの距離で外にあるかを表す。

このようにして、
 ε は x が区間の外にあるときに、
 どれだけの距離で外にあるかを表す。
 これは、 x が区間の外にあるときに、
 どれだけの距離で外にあるかを表す。

5.2 $\varepsilon'' \leq \varepsilon/2 \in \mathbb{R}$.

7.4

$C \cap A \neq \emptyset$

$$x_i' \in A^c$$

$$B(x_i, \varepsilon) \subset A^c$$

A は 閉集合 である。